

第5回

ビジネスアーキテクチャ人材の育成 に関するタスクフォース

2025年9月1日

経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課

独立行政法人 情報処理推進機構

議事次第

1. 開 会 （5分）

- (1) 前回振り返り

2. 議 事 （110分）

- (1) プロモーション戦略等[意見交換]（70分）
- (2) ビジネスアーキテクチャ人材の人材像[意見交換]（40分）

3. 閉 会 （5分）

- (1) 次回開催のご案内

1. 開会(1)：前回タスクフォース振り返り

前回の振り返り(1/2)

主なアジェンダ

- (1) ゲストスピーチ
- (2) ビジネスアーキテクチャ人材の人材像

人材像に対する主なご意見

No	ご意見
1	- 日本の<u>経営者と話すときは複雑な横文字を使用することに難しさを感じる</u>。プロダクトマネジメント、プロジェクトマネジメントは理解してもらえるが、<u>プログラママネジメントになると理解が難しくなる</u>。イニシアティブもプロジェクトの単位で使うことが増えてきたと思う。使用する場所と使い方によって、定義や補足説明が必要だと思う。 <u>アジャイル開発×中央集権は、既存のアプリケーションのIaaS開発の際に社内で使用している</u>。クラウドシフトされてアジャイル開発を行っていればよいが、クラウドリフトの段階にあるプロジェクトはアジャイル開発×中央集権になりがちだと思う。
2	<u>ポートフォリオマネジメント、プログラママネジメントの境界が理解しづらい</u>と思う。それ以外は分かりやすかった。
3	最近のアジャイル開発は、デリバリと運用が一体になってきているため、<u>オペレーションマネジメントをPdMの責任範囲に含むのだと思う</u>。
4	- PMとPdMの違いは、有期か有期じゃないかの違いが1つの線引きだと理解した。 <u>BActは横断的な動きをするため、境界を引くのは難しい</u>と思う。 - PdM、POは任期が長いのに対し、BActはプロジェクト的な動きになる。<u>任期にばらつきがあることにしっくり来ていない</u>と感じた。
5	- 資料「関係性の概念」では、<u>BActとBActを中心に置いたことが良い</u>と思う。様々な企業の特성에応じてどちらにも寄せられる。 - 一方で、資料「変革階層における役割分担」では、<u>プログラム＝プロダクトに見えなくない</u>ため、表現の仕方に工夫がいると思う。

前回の振り返り(2/2)

人材像に対する主なご意見

No	ご意見
6	- 活動の視点でまとめられているが、この他に、<u>どういう状態を作り出してキープするか。ありたい状況を設定してあげると書いてあることがわかりやすくなる</u>と思う。 - イニシアティブポートフォリオ、プログラムマネジメント、プロジェクトマネジメントの<u>管理の階層と変革の階層が一致していないところに違和感があった</u>。
7	<u>プロジェクトマネージャーが入っていない場合、日本では指摘が多くあると思う</u>。補記でも入れておいた方がいいのではないかな。 - 資料「変革階層における役割分担」では、<u>小規模プロジェクトと大規模プロジェクトのように分けて書いた方がいい</u>と思う。プロジェクトマネージャは、プロジェクトマネージャの軸のキャリアパスがある。
8	資料「関係性の概観」では、<u>PdMはビジネス側に置かれているが、実際は開発の責任も負っている</u>。PdMも真ん中に表現をした方がいいのではないかな。

2. 議事(1) : プロモーション戦略等

山本主査 資料（1）参照

2. 議事(2) : ビジネスアーキテクチャ人材の人材像

山本主査 資料（2）参照

3. 閉会